

令和2年9月4日

令和2年度第2学期（第3・第4クォーター）の授業実施に係る基本方針について

香川大学長

新型コロナウイルスの国内の感染状況に鑑み、感染拡大のリスクを低減させながら教育活動を継続するため、第2学期（10月1日～）の授業等の実施については、以下の基本方針を取ることにいたします。

●基本方針

1. 授業は、引き続きオンライン等による遠隔講義を基本とする。
ただし、一部の講義科目をはじめ、実験・実習科目等（注1）は、3密を避ける等、感染防止対策（注2）を徹底したうえで、部局長・研究科長が特に認めたものについて対面授業を実施する。
授業に関する連絡は、授業科目ごとに教務システム（ドリームキャンパス、WebClass）を用いて行う。
2. ライブ配信または講義収録を教室で行う場合は、入室制限等一定条件のもと、授業担当教員が学生の入室を許可することができる。
3. 試験は、3密を避ける等、感染防止対策を徹底し、可能な範囲で対面での試験を実施する。
4. 感染状況等が変化した際には、本方針を変更する場合がある。

(注1)

「実験・実習科目等」とは、次の授業科目とする。

- ・ 実験・実習科目
- ・ 演習科目
- ・ 実技系科目（音楽・芸術・体育等）
- ・ 演習ゼミ、卒業研究等
- ・ 少人数で行われる講義等で、授業を開設する部局長・研究科長が特に認めるもの

(注2)

「感染防止対策」は、新型コロナウイルス感染拡大のリスクを低減させるため、以下の対策を講じるものである。

1 実験・実習科目等の実施方法等について

- ・ 3密(密閉・密集・密接)を避ける等の工夫を行う。
- ・ 可能な限り対面する時間・回数を減らして実施する。
- ・ 近距離での対面形式となるグループワークや作業は、感染防止に十分に留意して実施する。
- ・ 室内における歌唱や管楽器演奏等を伴う授業では、特に感染防止に留意する。
- ・ 体育では、密集する運動や近距離で組み合ったりする運動等を避け、可能な限り屋外で実施する。

2 授業環境等について

- ・ 発熱、体調不良の者は参加させないこと。
- ・ 体調管理に留意し、健康チェックシートを用いて、日々の健康状態を記録すること。
- ・ 原則として教員・学生共にマスク等を着用すること。(運動を伴うものは不要)
- ・ エアコンを作動させた状態で窓を開けるなど、室内の換気を十分に行うこと。
- ・ 手洗い、消毒を励行すること。

3 学外実習について

- ・ 学外実習等は、実習先と調整の上、可能な範囲で実施する。
- ・ 県外への移動を伴う実習等は最新の国及び県の方針を踏まえて実施を判断する。